



「第29回全国児童生徒地図優秀作品展」の大臣賞受賞者と金子国土交通大臣

## CONTENTS

1. 「第29回全国児童生徒地図優秀作品展」大臣表彰式を実施 ..... 2
2. 企画展「地図と測量の科学館」開館30周年記念特別展 ..... 3
3. インドネシアと測量・地図分野で連携強化 ..... 4
4. 電子地形図50000の全国整備が完了！ ..... 5
5. 「測量の日」関連行事を実施  
●第22回北海道測量技術講演会を開催 ..... 6
6. 「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数 ..... 7
7. 1月の報道発表・3月の主な行事予定 ..... 7

## 「第29回全国児童生徒地図優秀作品展」大臣表彰式を実施

「第29回全国児童生徒地図優秀作品展」(主催:全国児童生徒地図作品展連絡協議会)は、全国各地から推薦された作品の中から、優秀な作品として「国土交通大臣賞」、「文部科学大臣賞」を選出し、1月6日に国土交通大臣応接室において大臣表彰式を行いました。国土交通大臣賞には、札幌市立幌東中学校 2年 <sup>わたなべ</sup>渡辺ちとせさん、文部科学大臣賞には鳥取市立美保小学校 6年 <sup>ながたに えみり</sup>長谷咲凜さんの作品が選定され、受賞者には <sup>かねこやすし</sup>金子恭之国土交通大臣から賞状と記念品が授与されました。

(参考:国土地理院広報第691号(「第29回全国児童生徒地図優秀作品展」を開催))

### ●国土交通大臣賞

「点字ブロックから考える私の街の住みやすさ」

札幌市立幌東中学校 2年 <sup>わたなべ</sup>渡辺 ちとせさん



### ●文部科学大臣賞

「私の町・美保地区のちがいを探れ！」

～地図から見える3つの時代～

鳥取市立美保小学校 6年 <sup>ながたに えみり</sup>長谷 咲凜さん



記念撮影に続いて金子大臣に若林芳樹選考委員長が受賞作品を紹介し、受賞者からは作品の説明が行われました。金子大臣からは受賞者やその保護者に対し、まとめるのに大変だったこと、作成にあたり工夫した点を問いかけるなど、終始和やかな雰囲気でした。



金子大臣に作品を説明する渡辺さん



金子大臣に作品を説明する長谷さん

作品の紹介等詳細は以下のURLからご覧ください。

全国児童生徒地図優秀作品展 <https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/sakuhin.html>

(総務部)

## 企画展「地図と測量の科学館」開館30周年記念特別展」を開催

国土地理院「地図と測量の科学館」(茨城県つくば市)では、特別展示室において3月24日(火)から6月21日(日)まで、企画展「地図と測量の科学館」開館30周年記念特別展」を開催します。

地図と測量の科学館は、地図や測量に関する歴史、原理や仕組み、新しい技術などを総合的に展示して、私たちの生活に欠かせない地図や測量の役割を、誰もが楽しみながら体感できる施設として、1996(平成8)年6月に開館し、今年(令和8)年の6月で30周年を迎えます。

開館以来、数多くの方々に来館いただき、地図と測量の世界に親しんでいただきました。

2005(平成17)年8月には「つくばエクスプレス」の開業、同年9月には「つくばサイエンスツアーバス」の運行も始まり、東京方面からの来館者も急増し、2019(令和元)年8月には来館者が100万人に到達しました。

その後、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で来館者数が落ち込むことはありましたが、現在では年間約5万人、累計約126万人の方々に来館いただいております。

今回の企画展は、「地図と測量の科学館」開館30周年記念特別展として、過去の企画展の振り返りと「地図と測量の科学館」開館から30年の歩みなどを紹介しています。

これからも、地図と測量の世界をより身近に、楽しく体験・学習していただける施設として一層努力してまいります。皆様のご来館をお待ちしております。

### 【主な展示内容】

- 過去の企画展のポスター等
- 過去の企画展で紹介した技術の最新情報
- 「地図と測量の科学館」開館から30年の歩み
- その他



併せて「地図と測量の科学館」ホームページもご覧ください。

<https://www.gsi.go.jp/MUSEUM/>



(総務部)

## インドネシアと測量・地図分野で連携強化

国土地理院は2025年12月1日、インドネシア地理空間情報庁(BIG: Badan Informasi Geospasial)のアリス長官(Prof. Muh ARIS Marfai)を迎え、<sup>かわせかずしげ</sup>河瀬和重国土地理院長との間で測量・地図分野における協力文書を締結しました。これは、両国が互いの技術力を向上させ、地理空間情報を活用した課題解決を共に推進することを目的とするものです。

経済成長と人口増加が著しいインドネシアは、約190万平方キロメートルの広大な国土に17,000以上の島々が点在し、その管理が大きな課題となっています。特に、全国規模での5000分の1地形図の整備や測地基準座標系の高度化は喫緊の課題です。また、地震・津波、火山活動が活発な日本と共通して、災害への迅速な対応を可能にする津波・災害監視システムの運用も急務とされています。これらの課題解決には、地盤沈下監視のための干渉SAR技術や、正確な絶対重力網の構築が不可欠です。こうした背景から、国土地理院が長年培ってきた地理空間情報に関する経験と技術が、インドネシアの課題解決に大きく貢献するものと期待されます。

国土地理院本院で行われた署名式では、河瀬国

土地理院長が両国の地理的特徴の類似性を挙げ、「この協力が双方の知見共有を促進し、課題解決に繋がることを期待する」と述べました。来日したアリスBIG長官も、「長年の協力関係を継続し、日本の協力を得てジオイドモデルの精度向上等を図りたい」と応じ、相互の信頼と今後の発展への期待が示されました。

今回の連携では、測地基準座標系の高度化、精密なジオイドモデル構築、干渉SARによる地盤沈下監視、3Dマッピングなど、多岐にわたる技術協力や情報交換を進めていきます。この協力は、インドネシアの地理空間情報整備を促進するだけでなく、互いの課題や事例を共有することから得られる多角的な視点を通じて、日本の地理空間情報技術の発展にも繋がるものと期待されます。



アリス BIG 長官 挨拶



河瀬国土地理院長 挨拶



協力文書の交換



出席者記念撮影

(企画部・測地部・基本図情報部・測地観測センター・地理地殻活動研究センター)

## 電子地形図50000の全国整備が完了！

国土地理院では、電子地形図50000の全国整備を令和5年度から3か年で実施する計画とし、順次、提供を進めてきました。このたび、1月30日(金)に最後の117面を提供し、全1,291面の全国整備が完了しました(図1)。

電子地形図50000は、2万5千分1地形図よりも広い範囲における地域の概況を1枚で示すことができる特徴を生かし、「国土や地域を総合的・俯瞰的に捉える」ことを目的として整備しています。また、電子国土基本図などを用いて、原則として自動処理によって作成することで鮮度を高め、行政・教育・レクリエーションなど幅広くご利用いただくことを想定しています。

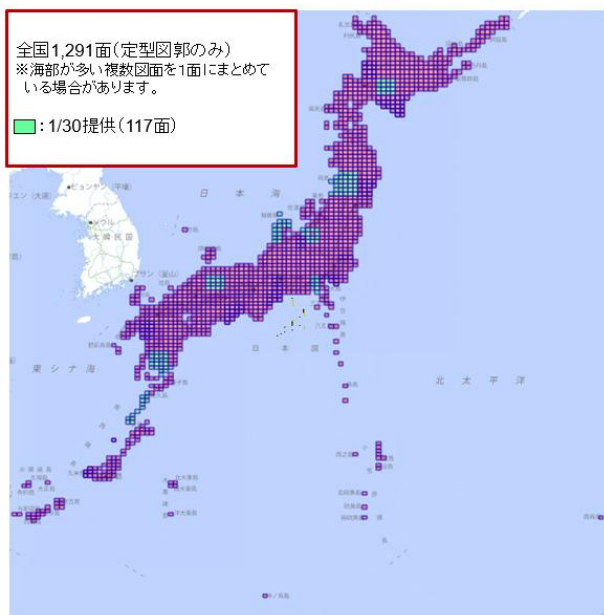


図1 電子地形図50000の提供範囲

データ形式は位置情報付きPDF(Geospatial PDF)とし、ユーザーが「地図」、「注記・記号」、「傾斜量図」、「陰影起伏図」、「整飾」という5つのレイヤーの表示・非表示を自由に切り替えることができます。このため、地理教育などの目的で、書き込みしやすい注記や記号のない地図を作成するなど、用途に応じた地図表現のカスタマイズが可能です(図2)。価格は1面280円(税込)で、(一財)日本地図センターのWebサイト([https://net.jmc.or.jp/mapdata/gsi\\_online/digital\\_topo50k.html](https://net.jmc.or.jp/mapdata/gsi_online/digital_topo50k.html))からオンラインで購入できます。



様々な地図表示をユーザー側で自由に選択することができます！

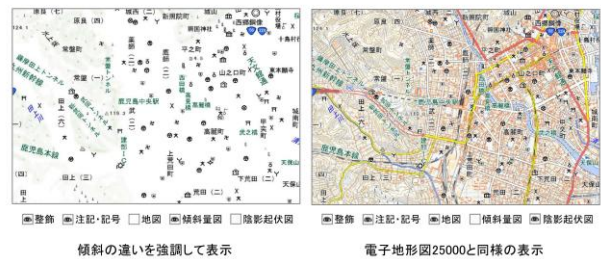


図2 レイヤー切替えによる表示例

今後は、3か月ごと(1、4、7、10月)に顕著な変化があった地域を順次更新、提供していきます。

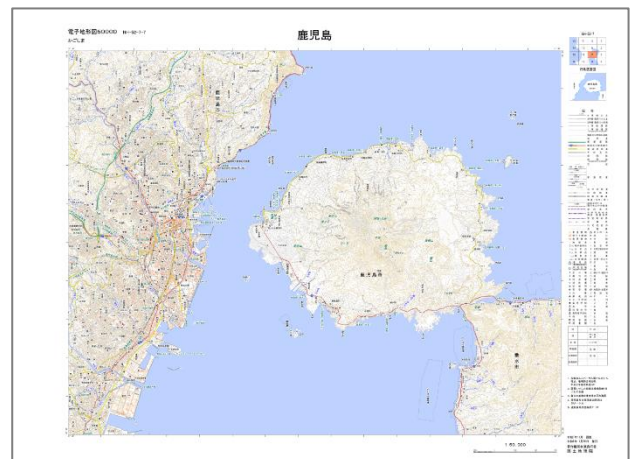


図3 電子地形図50000「鹿児島」の表示例

電子地形図50000Webサイト

<https://www.gsi.go.jp/chizuhensyu/chizuhensyu41036.html>



(基本図情報部)

「測量の日」関連行事を実施  
●第22回北海道測量技術講演会を開催

北海道地方測量部は、1月28日に札幌第1合同庁舎で「第22回北海道測量技術講演会～測量法、電子国土基本図及び北海道の防災に関する動向～」を開催しました。

北海道地方測量部と公益社団法人日本測量協会北海道支部で主催し、会場42名・オンライン75名の計117名の皆さまにご参加いただきました。

本講演会は、測量技術の高度化や地理空間情報の利活用、災害対応に関する最新トピックを共有する場として実施し、産学官の6名にご講演いただきました。

最初に、北海道大学広域複合災害研究センター<sup>かわむらたけし</sup>川村壮特任准教授より、「北海道の防災における地理空間情報の活用事例」と題し、北海道の防災における地理空間情報活用として、GISによる被害想定、胆振東部地震の分析、日本海溝・千島海溝地震の想定、産学官の連携、人材育成を通じた減災推進の重要性について講演いただきました。



川村氏の講演の様子

続いて、岩崎徹<sup>いわさきとる</sup>政策課長より、「測量法及び関係政省令の改正～測量業務の担い手の確保～」と題し、測量法と関係省令の改正として、測量士・測量士補の担い手確保に向けた養成施設要件の見直し、測量成果提供の電子化など、制度の変更について講演しました。



岩崎課長の講演の様子

休憩をはさんで、北海道総務部危機対策局危機対策課防災企画係<sup>くにいしけんいちろう</sup>国井淳一郎係長、北海道ドローン協会<sup>ふじわらたつや</sup>藤原達也事務局長、HELICAM株式会社営業部<sup>くろたけ</sup>黒田雄マネージャーより、「ドローンを活用した北海道の防災に関する取組」と題して、災害協定に基づくドローン活用の仕組み、産学官連携による防災技術の普及や災害訓練への参加状況、厚真町での複数ドローンを同時運用した実証実験について講演いただきました。



黒田氏の講演の様子

最後に、野口真弓<sup>のぐちまゆみ</sup>地図情報技術開発室長より「最近の電子国土基本図等に関する取組～3次元化に向けて～」と題して、電子国土基本図の建物・道路・鉄道に高さを付与する3次元化の取組、AIを活用した効率的な地図更新の取組について講演しました。



野口室長の講演の様子

北海道地方測量部は、最新の測量技術や防災・政策に関する情報の提供、技術者のレベル向上と地理空間情報のさらなる活用を図る場として、今後も本講演会を開催してまいります。

(北海道地方測量部)

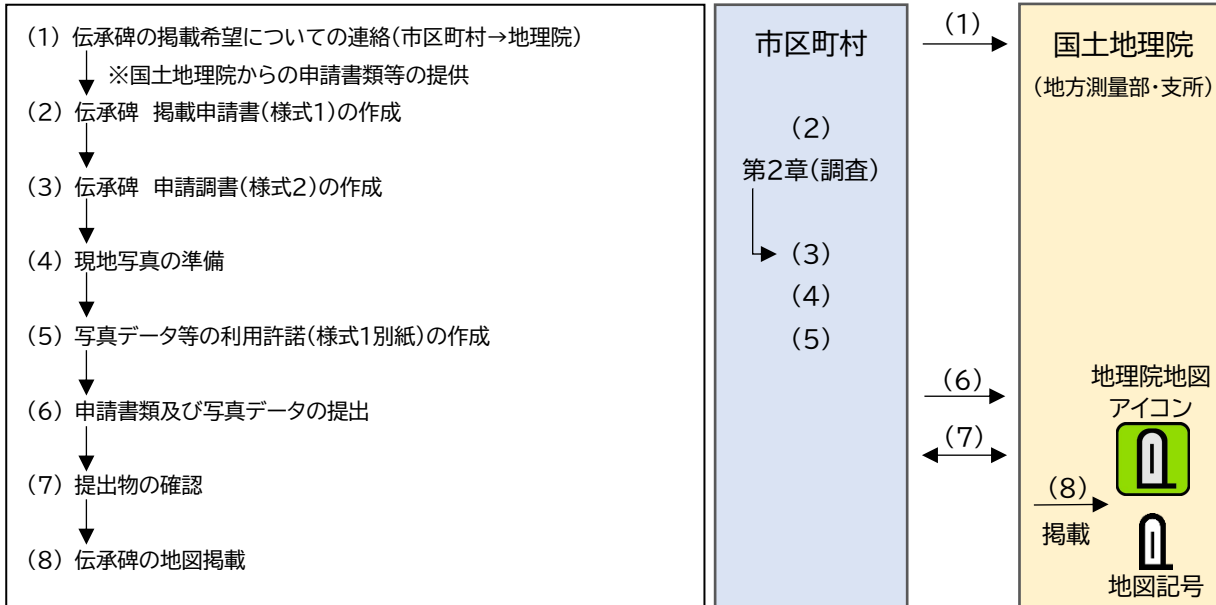
○「自然災害伝承碑」ウェブ地図「地理院地図」での公開数

令和8年2月25日現在

|    |      |     |      |      |   |
|----|------|-----|------|------|---|
| 47 | 都道府県 | 675 | 市区町村 | 2413 | 基 |
|----|------|-----|------|------|---|

詳細については、自然災害伝承碑のページ(<https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi>)をご覧ください。  
 [市区町村の担当者の皆様へ]自然災害伝承碑に関する当院への情報提供にご協力をお願いいたします。

自然災害伝承碑の申請の流れ



様式や手続きの詳細は「自然災害伝承碑に係る調査業務 実施の手引き 第6版(令和6年3月)」([https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi\\_info.html](https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/denshouhi_info.html))をご覧ください。

○1月の報道発表

| 発表日 | 件名  | 担当部署                            |
|-----|---|---------------------------------|
| 8日  | 第29回全国児童生徒地図優秀作品展「審査員特別賞」を伝達します<br>～第64回地図ならびに地理作品展(広島県)の作品より選出されました～ | 中国地方測量部                         |
| 13日 | 令和7年12月の地殻変動  | 測地部<br>測地観測センター<br>地理地殻活動研究センター |
| 14日 | 日本はなぜ動いているの?どうやって測るの?標高はなぜ変わったの?<br>3つの疑問にお答えします!～国土交通省リレー講演会～        | 中国地方測量部                         |
| 19日 | 指名停止措置について  | 総務部                             |
| 21日 | 太陽フレアによる1月20日のGNSS測位への影響  | 企画部<br>測地観測センター                 |
| 22日 | 電子地形図50000の全国整備が完了!<br>～全国どこでも地域の概況を捉えられます～                           | 基本図情報部                          |

報道の内容は、国土地理院ホームページ>2026年 報道発表資料一覧  
 (<https://www.gsi.go.jp/WNEW/PRESS-RELEASE/press-2026.html>)をご覧ください。

○3月の主な行事予定

| 月日        | 行事  |
|-----------|---|
| 3/24～6/21 | 地図と測量の科学館 企画展<br>「「地図と測量の科学館」開館30周年記念特別展」 |

国土地理院広報は、  
 国土地理院ホームページ>広報誌>国土地理院広報  
 (<https://www.gsi.go.jp/WNEW/koohou/>)に掲載しています。

発行 **国土交通省国土地理院**  
 Geospatial Information Authority of Japan

〒305-0811 茨城県つくば市北郷1番  
 TEL 029-864-6255  
 FAX 029-864-6441



連絡先:総務部広報広聴室  
 国土地理院ホームページ  
<https://www.gsi.go.jp/>